

# 敵機役部隊の騒音調査

今月上旬に航空自衛隊新田原基地（宮崎県）から小松基地に、訓練で敵機役を務める飛行教導群が移動したのを受け、小松基地爆音訴訟原告団の四人が二十七日、部隊移動による基地周辺の騒音調査を始めた。

石川県小松市丸の内町内に飛行訓練が始まる午前七時五十分から夜まで騒音測定器を設置。小松空港から離陸する戦闘機や民間航空機の騒音値を全て調べた。  
午前と午後離陸する迷

## 小松の訴訟原告団始める

彩柄が特徴の飛行教導群のF15戦闘機を確認。ともに騒音値は一〇〇デシベル前後で、通常の同機と変わらないという。調査は二十九日までの三日間を予定する。

長田孝志副団長（右）は「部隊移動で小松空港の離着陸回数は確実に増え、騒音の回数も増える。長い期間で測定をしなければいけない」と話した。

（谷大平）

戦闘機の騒音値を測定する原告団のメンバーたち＝石川県小松市丸の内町で

